

名古屋市公会堂丸わかりパネル展

&

特別展「名古屋市公会堂とロックコンサートの半世紀」

事業レポート

4月からの改修工事による休館を前に、名古屋市公会堂では“クロージング・イベント”を開催しました。

その柱となるのがふたつの展示企画。

2月上旬から3月下旬の7週間にわたって、公会堂の様々な面を知っていただくために、パネル、ポスター、写真等の展示を行いました。この展示企画についてご報告します。

その他の事業レポートもあわせてお読みください。



間もなく休館となる3月25日（土）の玄関前の様子。展示の案内看板の横にはコンサートのポスターが。この日は大ホールで、ロビーコンサートシリーズの最終回特別公演も開催しています。

展示会場は入口を入ってすぐの事務所前廊下から地下に降りる階段踊り場、そして地下の旧食堂スペース。

どなたでも自由にご覧いただける動線上に配置してあります。

正面入口にはふたつの展示企画の案内パネルを置き、たまたま通りかかった方でも気軽にお入りいただけることをアピールしています。





「丸わかりパネル展」では、公会堂について理解を深めていただくために、全部で8枚のパネルをご用意しました。

その主な内容は、

- 公会堂の歴史
- 年表
- 舞台公演の記録
- 建築上の特徴
- 改修後のフロアマップ
- 名古屋市内のホール変遷

以上を、写真や図表を交えて、分かりやすくご紹介しました。



特別展「名古屋市公会堂とロックコンサートの半世紀」は、CBCテレビが過去50年間にわたって公会堂で主催した数々のロック・洋楽のコンサートを振り返り、公会堂が「ロックの殿堂」と呼ばれるに至った歴史の一面をご覧ください。



初日は4階ホールを会場に、トークイベントとの同時開催で幕を開けました。

ロック・ライター大友博氏とCBCテレビの重盛啓之アナウンサーとのトークでは、東京だと武道館クラスの集客力を持つ大物海外アーティストが、名古屋ではこの公会堂を好んで会場としてきたこと、その理由として公会堂以外のホールが当初はロックコンサートを受け入れていなかったこと、さらに「音が良い」「雰囲気が良い」とアーティストの評価が高かったこと、という嬉しいお話が紹介されました。



翌2月7日からは場所を地下の旧食堂に移して開催しました。

50年間で約120組にも上るアーティストの全部で200近い公演を、ポスター・プログラム・写真・サイン等300点を超える資料でご覧いただきました。この中には、今回が初公開となる秘蔵舞台写真など、大変貴重な展示品も含まれています。



公演年代順に主なアーティストを上げると、1965年のシルヴィ・バルタン、ザ・ビーチボーイズから始まり、レッド・ツェッペリン、サントナ、ディープ・パープル、デヴィッド・ボウイ、エルトン・ジョン、イーグルス、エアロスミス、エリック・クラプトン、ジェフ・ベック、ボン・ジョヴィ、イエス、アース・ウィンド&ファイアー、KISS、ニール・ヤング、エマーソン・レイク&パーマー、ボブ・ディラン、シンディ・ローパー、クロスビー・スティルス&ナッシュなどなど……。このうちサントナは8回、ジェフ・ベックは6回も公会堂に来ています。

以下、アンケートから主に特別展に対する感想を拾ってみました。

- 昔はコンサートといえば公会堂に来たのでとても懐かしかった。地下鉄駅からのバツタもの屋さんも懐かしい。
- ロックを知ったのはここからです！！今までありがとう！これからもヨロシク！
- 公会堂は青春そのものです。今日は楽しめました。ありがとうございました。
- その後の人生に多大な影響を受けたコンサートをいくつも見てきました。
- 昔立見席を朝から並んでやっと手に入れてライブが見れた時は本当に感動し幸せでした。今の私にとって何よりも大切な思い出です。
- 高校生のとき初めて友達どうしで来ました。夜出かけることもライブも当時はそんなにできなかったもので、今思い出してもドキドキします。
- 10代の頃初めて名古屋へ洋楽のライブを見に遠征したのが公会堂でした。重厚な座席の雰囲気などクラシックのコンサート会場のように緊張したのを覚えています。
- 高校時代から約45年ロックコンサートに来ているから、とっても懐かしい。とてもいい企画でした。ありがとうございました。
- 私にとってはここがまさに「ロックの聖地」です。今回の展示はとても胸が熱くなりました。ありがとうございました。
- ロックコンサートで数え切れないほど来ました。とても好きな会場です。壊されることなく改修工事をしてもらえて嬉しいです。
- 始まる前にCBCの人がこれから始まるよとの合図でみんなの気分があがったことを思い出しました。本当に懐かしいです。
- 大物ロックバンドが今思うとこんな比較的小さなホールで見れたことは当時の人たちは幸せだなと思います。
- レッド・ツェッペリンのコンサートで1週間耳鳴りが止まらなかった！（笑）
- サンタナからリングが飛んで来た。音は名古屋で最高でした。40年前です。
- A-HAのライブでは入りきれないファンが公会堂の外にかなりいて、もれてくる音で大合唱していたのを思い出します。
- 高校生の時、初めて名古屋で見たのが公会堂でのアルカトラスでした。私の青春全てです（笑）。今回はこのようなすばらしい展示を開催していただきありがとうございました！
- レッド・ツェッペリンやJAPANやデヴィッド・ボウイなど偉大なアーティスト達も来ていたことに驚きました。貴重な写真やパンフレットの数々の公開をありがとうございました。当時の思い出に浸ることができました。
- 初めてのコンサートライブが、公会堂のTOTOの公演でした。今でも覚えています。とても音響がよく、耳にやさしい音です。後々、他のホールにも足を運びましたが、ここが一番です（ドームはダメ）。大物バンドにこよなく愛される公会堂は、県民の誇りだと思います。
- 高校生の時レッドツェッペリンを見に来て開演前にこの食堂でカレーライスを食べたらツェッペリンの4人が食事に入ってきてびっくりした事を思い出します。
- 3階の一番後ろの席でコンサートを見た時、観客が全員立ち上がると視線が天井でさえぎられて何も見えなかったという悲しい思い出が。
- 地下鉄を降りてこの公会堂の前まで来て、中に入るまでの雰囲気が好きでした。新しい公会堂もまた、多くのロックファンに愛される場所になることを祈っています。
- こっそりと開演前に入り込んでリハを見たことが…ごめんなさい。とっても良い思い出です。
- 勤労会館無き今、公会堂こそ由緒正しき名古屋の老舗コンサートホールだと思います!!もっともっと名古屋に洋バンドを呼んで下さい。名古屋飛ばしはおさらばです。
- この展示にくるのは2回目です。よくとっておいて下さったと感謝致します。若い時はお金もなくて行きたいライブがあってもなかなか行けず、そうしているうちにアーティストが亡くなってしまうこともあり、今は行けるライブは必ず行くようにしています。エイジアのジョン・ウェットンもボウイも亡くなりましたね…さみしい限りです。公会堂の歴史がまた刻まれていくのを一緒に楽しみたいです。また次回の展示を楽しみにしています。
- 展示物はどれも本当に貴重で、感動しました。どうか公会堂も展示物も、今後も大切に保存していただき、またこのような企画を開催して下さい。また来ます！本当に感動しました！ありがとう。

特別展は中日新聞や朝日新聞にも取り上げられ、またご覧になった方々がSNSで拡散して下さったこともあり、会期末にかけて徐々に来場者数が増えていき、最終的に9,000人近くに上りました。ご来場の皆さま、ありがとうございました。

改修工事後は、地下に展示コーナーも設置する予定です。今後も公会堂の多様な歴史に触れていただける機会を提供していきます。